

一般財団法人 永頼会 松山市民病院

開設年 ●昭和31年6月
 開設者 ●一般財団法人永頼会
 院長 ●柚木 茂
 病床数 ●399床（一般399床）
 医師数 ●83名（研修医含む）
 研修医数 ●8名（初期研修医6名、専攻医2名）
 臨床研修指導医数 ●39名
 患者数 ●外来551名/日 入院289名/日

標榜科

◆内科◆消化器内科◆循環器内科◆呼吸器内科◆心臓血管外科
 ◆外科◆呼吸器外科◆脳神経外科◆整形外科◆泌尿器科◆婦人科
 ◆小児科◆眼科◆皮膚科◆耳鼻咽喉科◆形成外科◆麻酔科◆放射線科
 ◆リハビリテーション科◆歯科◆歯科口腔外科◆脳神経内科
 ◆心療内科◆精神科◆病理診断科◆救急科



当院は松山市内に位置する急性期医療を扱う市中基幹病院です。専門性の高い医師・スタッフのもとで最前線の医療を体験するのみでなく、救急医療やCommon Diseaseの扱いなどプライマリケアに触れることもできる環境にあります。

〒790-0067
 愛媛県松山市大手町2丁目6-5
 TEL 089-943-1151 FAX 089-947-0026
<https://www.matsuyama-shimin-hsp.or.jp>

研修責任者からのメッセージ

臨床研修プログラム責任者
木阪 吉保
 愛媛大学卒 消化器内科



当院はJR松山駅、松山市駅にも近く至極便利の良い立地にあります。そのために症例数も多く、研修では十分な症例を診られます。また、それぞれの分野に専門医がいて高度医療を実践しています。しかし、その一方で各診療科の垣根が低くアットホームな雰囲気を併せ持っています。愛媛大学、岡山大学、広島大学など複数の大学医局から医師が派遣されていることもあり研修中に多くの大学の先生と触れ合えます。そのため、他大学の出身者でもすぐに溶け込める雰囲気ができています。初期研修は医師としての将来に大きな影響を与えます。われわれと一緒に充実した研修を送りましょう。



臨床研修メンバーです。積極的に学べてチャレンジできる環境があります。

研修スケジュール

1年次	24週以上		12週以上	4週以上	4週以上	4週以上
	内科 当院		救急(救急科・救急外来) 当院	外科 当院	小児科 当院	産婦人科 外部医療機関
2年次	4週以上	4週以上	40週			
	地域医療 外部医療機関	精神科 外部医療機関	選択科目 当院又は外部医療機関			

必修分野

内科	24週以上	地域医療	4週以上*5
救急	12週以上*1	精神科	4週以上*4
外科	4週以上*2	選択科	40週*6
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上*3		

その他の分野及び選択研修など

- *1 救急は救急科での1ヶ月間の研修に加えて8日に1回の救急輪番当番を2年間経験する
- *2 外来研修は内科、外科、小児科にて週1回相当以上の研修を1年以上経験する
- *3 産婦人科は愛媛大学医学部附属病院にて研修する
- *4 精神科は真光園又は愛媛大学医学部附属病院で研修する
- *5 地域医療は市立大洲病院、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院、久万高原町立病院より選択する
- *6 選択科としては松山市民病院、愛媛大学医学部附属病院及び野口病院（別府）の全ての標榜科を選択可能（予定）
- *7 松山市民病院での研修は合計48週以上とする

研修医よりメッセージ



各診療科により研修内容はさまざまですが、基本的には指導医の先生のもとで病棟の患者さんを受け持ち、検査や点滴のオーダーなどを出したり、ルート確保や動脈採血、中心静脈カテーテル挿入などの基本的な手技を施工したりします。もちろん外科系の診療科では手術にも入りますし、麻酔科では入院患者はいませんが、他の診療科ではあまり経験できない人工呼吸、気管内挿管、腰椎穿刺（脊椎くも膜下麻酔）などを数多くこなせます。全体を通して基本的な手技は一通り経験でき、また自分で患者さんを診察し異常を見つけ、どのような検査が必要か考え、治療方針を決めることまでさせてもらえます。もちろん分からない時は相談に乗っていただき丁寧に指導してもらえます。松山市民病院ではどの診療科を何ヶ月、どういう順番でローテーションするかをかなり自由に決められます。必修科目などある程度の制限はありますが、最低4週単位で診療科を選択できるので幅広くいろいろな科を回れますし、将来進みたい科が決まっていたらそれに合わせて診療科を選択できます。当院には、仕事に対する心構え、考え方、臨み方、生活のリズム、患者さんへの接し方など、これから医師として働いていくうえで基本であり大切なことを経験でき、またそれを指導して下さる素晴らしい先生方がたくさんいます。見学だけでは分からない部分もたくさんあると思いますが、雰囲気だけでも一度ぜひ見に来てください。

プログラムの目的と特徴

1. 病院の規模が大きく多くの症例を経験できる

当院は399床、26診療科の規模を持っています。愛媛県立中央病院、松山赤十字病院、愛媛大学医学部附属病院、四国がんセンター、済生会松山病院などともに松山市周辺地区の医療を担っています。松山市中心部に位置していることから、近隣の診療所からの紹介もあり多くの症例が集まってくる。

また、臨床研修の中でも救急医療は重要な項目ですが、当院は松山市の救急輪番病院となっており、8日に1回の救急日には松山地区約60万人の医療圏から様々な救急患者が集まってきます。感冒、アルコール中毒などの軽症患者からCPAなどの重症患者まで多くの救急症例を経験することができます。

その一方で他の大規模病院と比較すると研修医の数は多くありません。そのため、直接診療に携わり、問診、検査から治療まで一通りの診療を研修出来ます。また、各種実践的な手技などを数多く経験し身につけることが可能な研修となっています。

2. それぞれの分野に専門医がいて相談できる

現在は医療の高度化に伴って高い専門性が必要とされる傾向にあります。日本内科学会や日本外科学会をはじめとする各学会から34の施設認定を受けています。また産婦人科以外のほとんどの診療科を備えており、それぞれに専門性の高い医療を行っています。

内科では消化器、循環器、呼吸器、血液、腎臓、糖尿病・内分泌の6グループに分かれており、内科研修中にはそれぞれの領域の指導医から指導を受けることができる体制がとられています。

外科では一般外科（消化器、乳腺、甲状腺）、呼吸器外科、心臓血管外科の3グループに分かれており、外科研修中にはそれぞれの領域の指導医から直接指導を受けることのできる体制がとられています。

3. 各診療科の敷居が低くアットホームな雰囲気である

大規模な病院ですとどうしても診療科や卒業大学によって敷居ができてしまうことがあります。しかし当院ではそのようなことは全くありません。

医局にはすべての科の医師が机を並べており、研修中の科以外の先生とも気軽にコミュニケーションをとり相談することが可能な雰囲気となっています。研修医室の近くに指導医の医局がありますので、困った時にはすぐに相談できるのが大きなメリットです。

また、岡山大学、愛媛大学、広島大学など複数の大学医局から医師が派遣されていることもあり研修中に多くの大学の先生と触れ合うことができます。そのため他大学の出身者でもすぐに溶け込める雰囲気ができています。

募集要項

予定定員	8名
応募締切	令和4年7月1日～7月31日（締め切り7月31日消印有効）
選考試験	令和4年8月初旬～9月初旬
応募書類	履歴書（要写真）、卒業（見込み）証明書、成績証明書、面接資料（各自当院指定のフォーマットを印刷し、直筆で記入したもの）
研修手当	1年次月額380,000円（税込、救急手当含む、時間外別） 2年次月額400,000円（通勤手当2km以上で支給）
宿舎	なし（住宅手当あり）
学会等	発表を伴う学会参加は随時可能（費用支給あり）
その他	【休日】原則第2、4土曜、日・祝祭日、年末年始 【有給休暇】10日（採用6ヶ月経過後） リフレッシュ休暇6日（初年度5日） 【加入保険】健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険 【院内保育所】あり（月2回24時間保育あり）

連絡先

担当者 ●臨床研修室
 〒790-0067
 愛媛県松山市大手町2丁目6-5
 TEL 089-943-1151
 FAX 089-947-0026
 MAIL resident@matsuyama-shimin-hsp.or.jp



【JR】
「松山駅」より徒歩3分

【伊予鉄】
郊外電車「大手町駅」より徒歩3分

【バス】
伊予鉄バス「市民病院口」より徒歩3分